

		EZ-WIN総合評価シート			23.9.24 (日) 阪神11R G2神戸新聞杯 芝2400m外B 3歳 馬齢 15:35																	
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性齢	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	ローテ(臨戦)評価
12	27	★	1	1	美)サスツルギ	牡3	56	8	A				7,2	5,2	10,1	10	34	8	北村宏	木村哲		
17	37	注	2	2	栗)ショウナンバシット	牡3	56	7	B	注		B	17,14	13,6	3,1	8	54	14	M. デ	須貝尚	展	B
17	49	▲	3	3	栗)サトノグランツ	牡3	56	3	C	注		B	14,2	5,2	4,3	14	41	43	川田将	友道康	TR	B
3	46		4	4	栗)ロードデルレイ	牡3	56	5	B				2,2	5,2	5,1	39	127	30	坂井瑠	中内田		B
7	18		4	5	栗)パールデュヴァン	牡3	56	13					8,3	7,2	7,5	0	0	2	古川吉	浜田多	R	
10	40	×	5	6	栗)サヴォーナ	牡3	56	10	A	注		B	1,2	6,9	5,1	12	98	5	池添謙	中竹和		
17	41	×	5	7	栗)ファントムシーフ	牡3	56	2	A			A	12,9	11,2	2,6	31	83	50	武豊	西村真	展	B
20	29	×	6	8	栗)マイネルラウレア	牡3	56	6	C	注			5,1	16,9	7,1	23	95	30	横山武	宮徹	展	
5	16		6	9	栗)ピキニボーイ	牡3	56	12	C				6,3	10,1	地方	0	25	2	松若風	梅田智	R	
8	39	×	7	10	美)ナイトインロンドン	牡3	56	4	A	注		A	11,1	3,1	4,1	14	41	18	和田竜	大竹		
17	32	◎	7	11	美)シーズンリッチ	牡3	56	9	A	注	S		3,13	6,3	3,8	5	90	14	角田大	久保田		B
9	22		8	12	栗)スマートファントム	牡3	56	11				B	10,1	7,1	10,2	0	0	2	岩田望	石橋守		
17	49	○	8	13	美)ハーツコンチェルト	牡3	56	1	A	注		B	15,6	11,1	5,3	38	70	50	松山弘	武井亮		A

阪神開催の神戸新聞杯は、前走ダービー組が圧倒的優勢で、ほぼ全ての年でスローペースからの瞬発力勝負になります。

今年は特に前で引っ張るタイプがおらずスローペースの瞬発戦が濃厚です。

ただし、安定的に先行するタイプは5頭しか居らず、古馬の2勝クラス1200m戦でも上り33秒台が出る軽い馬場。

こういう時は、世間の常識に逆らって前残りの可能性を探る方向で馬券を検討したいと存じます。

◎11番シーズンリッチ

父はキングマンボ系ドゥラメンテ。

母父がハーツクライで、祖母父は持続血統の

米APインディ系、曾祖母父も持続血統の米フォーティナー系。

前走のダービーは3番手から追走して0秒4差に踏ん張る大健闘。

阪神外回りのG3毎日杯では、5番手からの競馬で上り3位1着。

その時2着に退けたノッキングポイントは、次走のダービーで5着に好走し、

その後は古馬混合重症の新潟記念を快勝しております。

今回のメンバーでは、先行勢5頭の中で唯一の前走ダービー組。

前走と比べ、メンバーレベルが一気に落ちるここなら、
前で残る可能性は決して低くないと考えております。

○13番ハーツコンチェルト

前走のダービーはタイム差無しで3着でしたが、
後方集団からの競馬になってしまった事を挽回するため
3角手前から足を使い続け、大外を回ったロスが堪えました。

何か一つでも恵まれておれば、
ダービー馬になっていたかもしれず、
ダービーで掲示板に載った他の馬が
ことごとく別路線に向かったここでは実績最上位。

なのに賞金面では2勝馬と同じ1500万しかなく、
ここで権利を取れなければ、本馬で除外の可能性がります。

そのため2週前から栗東入りする勝負がかりの1戦で、
着外は許されない背水の陣。

▲3番サトノグランツ

当レース優勝馬のサトノダイヤモンドが父。

当コースに勝鞍があり、デビュー戦以外は全て上り3位以内。

主戦の川田Jは、秋以降の成長に期待しているようで今回も継続騎乗。

★1番サスツルギ

欧州色の強い牝系で、古馬になってからやろ？と

軽視する方向でおりましたが…

あれ？…シンコウエルメス牝系って…

あ！従兄弟に皐月賞馬ディーマジェスティいてはるやん！

と、いまさら気が付きました。

デビュー戦から常に上り2位以内で走っており、

連続して出走出来ていない分、出世が遅れておりますが、

従兄弟にクラシック活躍馬がいるなら侮れません。

注2番ショウナンバシット

父シルバーステートは、少しパワー寄りの種牡馬ですが、

母系が米国型ND系の2段重ねに曾祖母父が米ゴーンウエスト系(ミスプロ系)

というゴリゴリの持続型米国牝系。スナナリ先行ならば残り目もあるかも知れません。

馬券

馬連 11-1・2・3・13

馬連 13-1・2・3

ワイドボックス 1・2・11

3連複フォーメーション22点

11-1・2・3・13-印全頭